

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公開番号】特開2016-142106(P2016-142106A)

【公開日】平成28年8月8日(2016.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-047

【出願番号】特願2015-20848(P2015-20848)

【国際特許分類】

E 04 G 21/02 (2006.01)

【F I】

E 04 G 21/02 103Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月6日(2017.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンクリート打設前に冷却管を配置し、前記冷却管内に配置された吸水性部材に水を含ませ、前記冷却管に負圧を作用させて前記吸水性部材に含まれた水を気化させることでコンクリート内部を冷却するコンクリートの冷却方法。

【請求項2】

前記吸水性部材を前記冷却管の一部に配置する請求項1に記載のコンクリートの冷却方法。

【請求項3】

前記コンクリート内部の冷却中に前記吸水性部材に水を供給する請求項1または2に記載のコンクリートの冷却方法。

【請求項4】

コンクリート打設前に配置された冷却管と、  
前記冷却管内に配置された吸水性部材と、  
前記冷却管に連結された真空装置と、を備え、  
前記吸水性部材に水を含ませ、前記真空装置により前記冷却管内に負圧を作用させて前記吸水性部材に含まれた水を気化させることでコンクリート内部を冷却するコンクリートの冷却装置。

【請求項5】

前記冷却管を複数本配置し、  
前記各冷却管の端部を共通のヘッダに連結し、前記ヘッダを介して前記真空装置により前記各冷却管内に負圧を作用させる請求項4に記載のコンクリートの冷却装置。